

南白小の未来をえがく！

令和 5 年 6 月 7 日

府中市立南白糸台小学校

校長 西尾 克人

～子供たちの未来が明るくなるように～

「南白小の未来をえがく！」に込めた思い(昨年度と同様に)

校長室だより 第1号

教育は、なかなか成果が表れない営みです。

でも、南白糸台小学校では日々の生活の中で、とてもよいシーンを見ることができています。

このシーンは、「南白糸台小学校の子供の未来を描いている」営みだと思えます。

各学年での学習を中心に紹介していきたいと思えます。

授業の様子等、「南白小のよさ」を伝えていきたいと思えます。よろしくお願いします。

6年生…理科「月と太陽」

…より妥当な考えを見いだす

月の見え方が太陽との位置関係で変わること学ぶ学習です。空間認識が必要になり、とても難しい学習です。また学習指導要領では、「地球から見た月」という限定がついています。宇宙の中で地球が公転していることには触れません。チャイルドロジックという考えで、小学生の発達段階に合わせています。

理科の「思考力、判断力、表現力等」について(各学年に位置付けられています)

- ・3年生…問題を見いだす力
- ・4年生…根拠ある予想や仮説を発想する力
- ・5年生…検証方法(観察・実験の方法)を発想する力
- ・6年生…より妥当な考えを導出する力(考察し、結論を導出する)

子供たちが見いだした問題は、「日によって月の見え方が変わったのはどうしてだろう」です。この問題を解決するために、地球、月、太陽の位置関係を確認し、地球から見ている月の様子を観察しました。

地球領域(天文等地球学)の学習では“自然事象をモデルに置き換えて結論を導き、自然事象を確認する”という学習が有効です。月は常に半分、太陽の光をあびています。地球から見ると月の形が変わることを、端末で写真を撮りながら確認していきます。

子供たちは、「月と太陽の位置が変わることによって月の見え方が変わる」という結論を得ることができました。

太陽と月の位置関係(空間認識)をとらえ、結論を得るためのモデル実験思考力を働かせる姿は、さすが6年生です。頼もしく思いました。

頼もしく思いました。

留学生との交流(「世界とつながる 英語 Enjoy Week」)

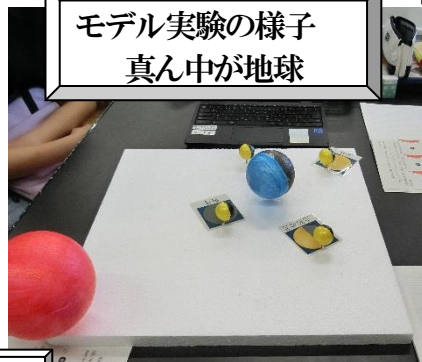
府中市教育委員会が力を入れていることに、外国語や外国の方とのコミュニケーション力を付けることがあります。先週がその週間でした。南白小は東京外国語大学の留学生との交流を各学年行いました。留学生(韓国、ブラジル、フランス、ロシア、インドなど)と、どの学年も楽しそうに活動していました。また、留学生も「楽しかった」との感想で、うれしく思いました。5年生は、7月に立川にある「TOKYO GLOBAL GATEWAY」という、英語しか話せない状況をつくる施設で体験学習を行います。グローバル化が進む中、積極的なコミュニケーション力を南白っ子に付けさせたいと思いました。

子供たちが見いだした問題は、「日によって月の見え方が変わったのはどうしてだろう」です。この問題を解決するために、地球、月、太陽の位置関係を確認し、地球から見ている月の様子を観察しました。

グローバル化が進む中、積極的なコミュニケーション力を南白っ子に付けさせたいと思いました。



問題と学習の振り返り



モデル実験の様子
真ん中が地球



端末を駆使して結果を記録



留学生の話聞く

思いました。